

【新規設定コース】 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1856	【通信活用研修】技能競技会の成績分析と次期訓練計画への反映のポイント	【集合研修日】令和4年12月13日(火) 9:00~12:00	50	2 (集合0.5)
開催会場	[対面形式]AP新橋ROOM B (東京都港区新橋1丁目12-9新橋プレイス3階) ※JAVADA主催会議と同じ [オンライン形式] Zoomによりアクセス	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪国際大会あるいは技能五輪全国大会の成果(成績)の分析方法、分析結果を反映させて次期の訓練計画策定のポイントについて習得します。 (到達目標) ・技能訓練成果(成績)の分析方法を知っている ・目標に基づいた訓練計画の策定ができる			
最低限 必要な知識	技能競技会に関する基礎知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、集合研修前に基礎的な事前課題が提示され、集合研修日に取り組んだ結果を提出いただきます。 事前課題は、集合研修での解説等でフィードバックが行われます。 事前課題：指定のフォーマットによる大会の成績分析			(9) H
	1. 技能競技会の成績とその意味 (1) 技能五輪国際大会(全国大会)の成績の見方 (2) 成績が意味するもの (3) なぜその成績であったのか		0.5 H	
	2. 成績の正しい分析方法 (1) 統計的分析 (2) 採点基準と結果の紐づけ (3) 成績分析演習		1.5 H	0.5 H
	3. 次期訓練計画の策定とそのポイント (1) 訓練計画の目標の立て方 (2) 訓練計画の策定法 (3) 訓練計画を着実に実行するためのポイント		0.5 H	
			2.5 H	0.5 H
リニューアルの概要 及びアピールポイント	成績を正しく分析しフィードバックしなければ、次期の訓練計画は曖昧なものとなってしまいます。本研修では、正しい分析方法とはどのようなものなのか、何をどのように訓練計画に反映させるべきなのかを学ぶ初めてのコースです。			
研修成果が活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	菊池 拓男 (情報通信ユニット) 山下 龍生 (技術基礎ユニット) 半田純子 (国際・地域支援ユニット)			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト (予定)				